

令和8年8月10日

県政記者クラブ加盟社 各位

福島大学の〈1968〉を再検証 —福島大学卒業生・原田哲史氏の退職記念論文集に掲載

このたび、行政政策学類の阪本尚文准教授は、福島大学経済学部卒業生でドイツ経済思想史研究の第一人者として知られる原田哲史氏の退職を記念して刊行された関西学院大学『経済学論究』第80巻第1号（原田哲史博士退職記念号）において、「福島大学の〈1968〉—海後学長退陣闘争の展開とその背景—」を発表しました。本論文は、1968年の福島大学闘争を一次資料にもとづき再検証したものです。

本論文は、1968年に福島大学で起こった海後勝雄学長退陣闘争を、学内資料・新聞報道・教職員組合資料および関係者への聞き取り調査などをもとに再検証し、その背景を考察したものです。

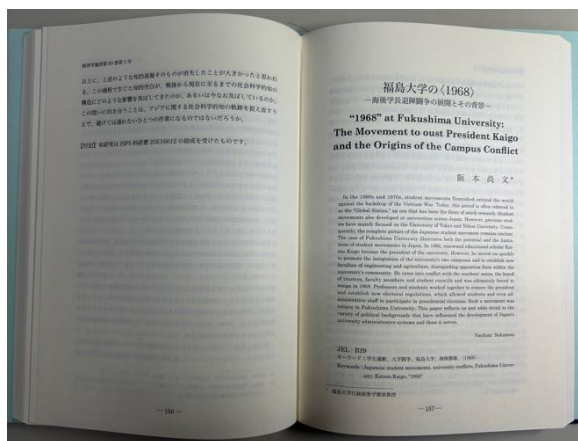
福島大学においては、教員・職員・学生が連携して学長退陣を求めるという全国的にも特異な展開をたどり、大学の自治のあり方を考えるうえでも重要な事例となりました。1968年前後の大学闘争研究は、これまで東京大学や日本大学を中心に進められてきましたが、本研究は、この福島大学闘争の背景と展開を明らかにすることで、大学闘争史研究に新たな視点を提示するものです。また、福島大学卒業生である原田哲史氏の退職記念論文集に、本学教員が本学史研究を寄稿することで、福島大学の知的継承の一端を示すものともなっています。

論文情報

阪本尚文「福島大学の〈1968〉—海後学長退陣闘争の展開とその背景—」

掲載誌：関西学院大学『経済学論究』第80巻第1号（原田哲史博士退職記念号）、2026年6月刊行

※本論文は関西学院大学リポジトリでも閲覧可能です。



研究のポイント

- ・未公開を含む一次資料と聞き取り調査を活用し、福島大学史上最大の事件の一つを初めて本格的に実証研究
- ・日本の大学闘争研究および大学史研究への新たな貢献

（お問い合わせ先）

行政政策学類准教授 阪本 尚文

メール：n-sakamoto @ ads.fukushima-u.ac.jp

※迷惑メール対策のため、@を全角にしております。コピーの際は@を半角にしてお送りください。